

# 食医同源之会の活動報告

## 【目的】

先人達の努力により今日の豊かな食環境がもたらされたが、一方では飽食の結果、肥満やメタボの増加という大変深刻な問題が生じている。また、家族間のコミュニケーション喪失から子供達の食習慣形成への薄弱化、あるいは地域の伝統的食文化の崩壊、食料の自給率への低下、そして食の安心・安全に関わる様々な問題は、日本的伝統の存亡に関わる事態に直面していると言っては過言であろうか。私たちは、2005年の「食育基本法」が制定される以前から小規模ながら勉強会などを通して啓蒙活動を行ってきた。今日までの活動をここに総括し、今後の健康推進活動に繋げる。

## 【沿革と活動】

2003年度 7月 有志による任意団体「食医同源の会」発足

毎月1回 勉強会を9回開催

2004年度 東京健康管理士元気に協賛の形で勉強会を12回開催

2005年度 5、6、12、2月と4回の勉強会を開催

2006年度 「食育かるた」の制作に関与

2007年度 5月12日 第1回食育学会でポスター発表

「食育かるた」の制作とその活用について

7月19日 有限責任中間法人 食医同源之会 設立

9月 「食育かるた」を商品化

2008年度 5月31日 第2回食育学会でポスター発表

「日本の伝統的な食文化の継承活動」

2009年度 6月6日 第3回食育学会でポスター発表

「種子島における安納芋を例にした産学民ネットワークシステムの構築」

6月19日 一般社団法人へ移行

12月「桑の実と林檎のチカラ」商品化 3月「国試の王様」商品化

2010年度 4月 生活習慣病（肥満について）の学習会

## 【今後】

更なる食育活動の推進、健康増進指導者の育成、村おこしの支援など